



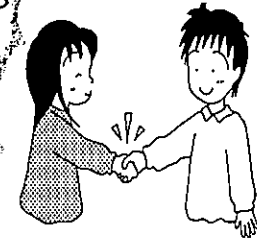
鶴城中学校  
保健室No.13  
H29.12.1

# 12月1日 世界エイズデー

## 友達・家族などではうつらない

～正しい理解が不安を除きます～

・12月1日は世界エイズデーです。エイズに関する知識等の啓発活動を推進し、エイズのまん延を防ぎ、患者・感染者に対する差別・偏見の解消を図るために設けられた日です。本年度のキャンペーンテーマは、「UPDATE!エイズのイメージを変えよう」です。差別や偏見をなくすために、また、自分自身が感染から身を守るために大切なことは、HIV/エイズを正しく知ることです。HIV/エイズは、簡単には感染しませんが、誰もが感染する可能性のある病気です。他人事ではなく、身近な問題としてとらえてほしいと思います。1・3年生は、来週の性教育の授業で学習します。



握手等ではうつらない



咳くしゃみ・唾液・汗・涙  
等からはうつらない



蚊やダニ等から  
はうつらない



食事や勉強等の生活  
ではうつらない

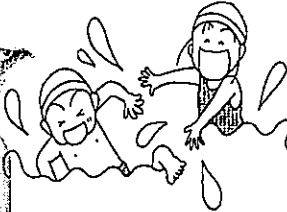
## キャンペーンについて

HIV/エイズに関する取り組みは、今、大きな転換期となっています。治療法の進歩によりHIV陽性者の予後が改善された結果、HIV陽性者は感染の早期把握、治療の早期開始・継続によりエイズの発症を防ぐことができ、HIVに感染していない人と同等の生活を送ることが期待できるようになりました。

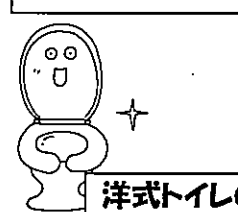
また、治療を継続して体内のウイルス量が減少すれば、HIVに感染している人から他の人への感染リスクが大きく低下することも確認されています。つまり、治療の進歩でHIV陽性者の生活は大きく変わり、HIV感染の予防にもその進歩に支えられた様々な選択肢が用意されるようになりました。

しかし、その現状が正確な情報として十分に伝わらず、HIV/エイズについては、原因不明で有効な治療法がなく死に至る病気であった時代の認識にとどまっている場合が少なくありません。そのことがHIV感染を心配する人たちを検査や治療から遠ざけ、また差別や偏見を招く要因の1つになっているとも言われています。

情報をUPDATE（更新）して、イメージを現実に近づけていくこと、それはHIV/エイズに関する取り組みをより実効性のあるものにするために、不可欠なことです。



プール等ではうつらない



洋式トイレの便座や  
電車のつり革では  
うつらない

HIVは大変感染力が弱く、熱や消毒にも弱いウイルスです。インフルエンザのように空気を介して（飛沫）感染することはないので、会話をしても、咳、くしゃみなどからもうつりません。蚊やダニの体内では、HIVは生きられません。



## エイズ(後天性免疫不全症候群)とは

エイズウイルスは、  
免疫を破壊します。

エイズとは、HIVに感染して起こる病気で、感染すると病原体などから体を守る「免疫」というシステムが破壊されていきます。その結果、いろいろな感染症などにかかります。このように、免疫が働かなくなる状態を免疫不全といいます。

## HIVの感染経路

HIVは感染している人の血液・精液・陰液に多く含まれ、性器の粘膜や皮膚の傷口から感染します。HIVは感染力の弱いウイルスです。このため、感染するのは次の3つの経路で、これ以外のふだんの生活では感染することがありません。

- 性行為による感染
- 血液からの感染
- 母子感染

エイズに限らず血液を介してうつる病気は、いくつか知られています。基本的な習慣として、次のことを身につけておきたいですね。①体や衣服が汚れたら、なるべく早く洗い流す。②カミソリや歯ブラシ、くし、タオルなど血液がつきやすい日用品は自分専用にする。③注射器など血液がついているかもしれない物にはふれないようにする。

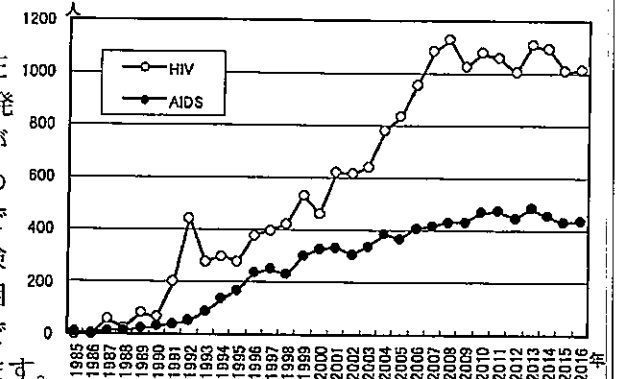
## 平成28年エイズ発生動向（厚生労働省エイズ動向委員会より）

昨年はHIV感染者の新規報告が1,011件で過去8番目に多く、AIDS患者の報告は437件で過去6位の報告数でした。年齢では、HIV感染者は20～30歳代に多く、全体の62.3%を占めています。AIDS患者では20歳代以上に幅広くなり、特に40歳代に多い傾向が続いています。

全国的に見るとここ数年横ばい状態が続いていますが、HIV感染の九州からの報告は、最多だった昨年(58件)から17件増え75件となりました。昨年度報告数の上位10位を人口10万対で見ると、九州ブロックから3県(沖縄、福岡、熊本)が入っています。

また、HIV感染者とAIDS患者を合わせた年間の新規報告件数に占めるAIDS患者の割合が30%を超える高い数値を示しています。これは、HIVに感染しているもののAIDSを発症するまで診断されていない人が数多く存在することを示しています。AIDSを発症する前に、治療を開始することが本人のためにも感染を広げないためにも大切なことですので、これまで以上にHIV感染についての啓発や検査を受けやすい医療環境の整備・相談機会の提供が必要です。保健所では、無料・匿名で検査が受けられます。

新規HIV感染者およびAIDS患者報告数の年次推移



～保護者の皆様へ～山鹿市健康増進課より連絡があり、子どものインフルエンザ予防接種費用助成期間が、平成30年1月31日(水)までに延長されたそうです。